

第3回委員会

## 第2回策定委員会での意見とその対応について



## 第2回策定委員会での意見とその対応について

### (1) ワークショップによる住民参加を取り入れなかった理由について

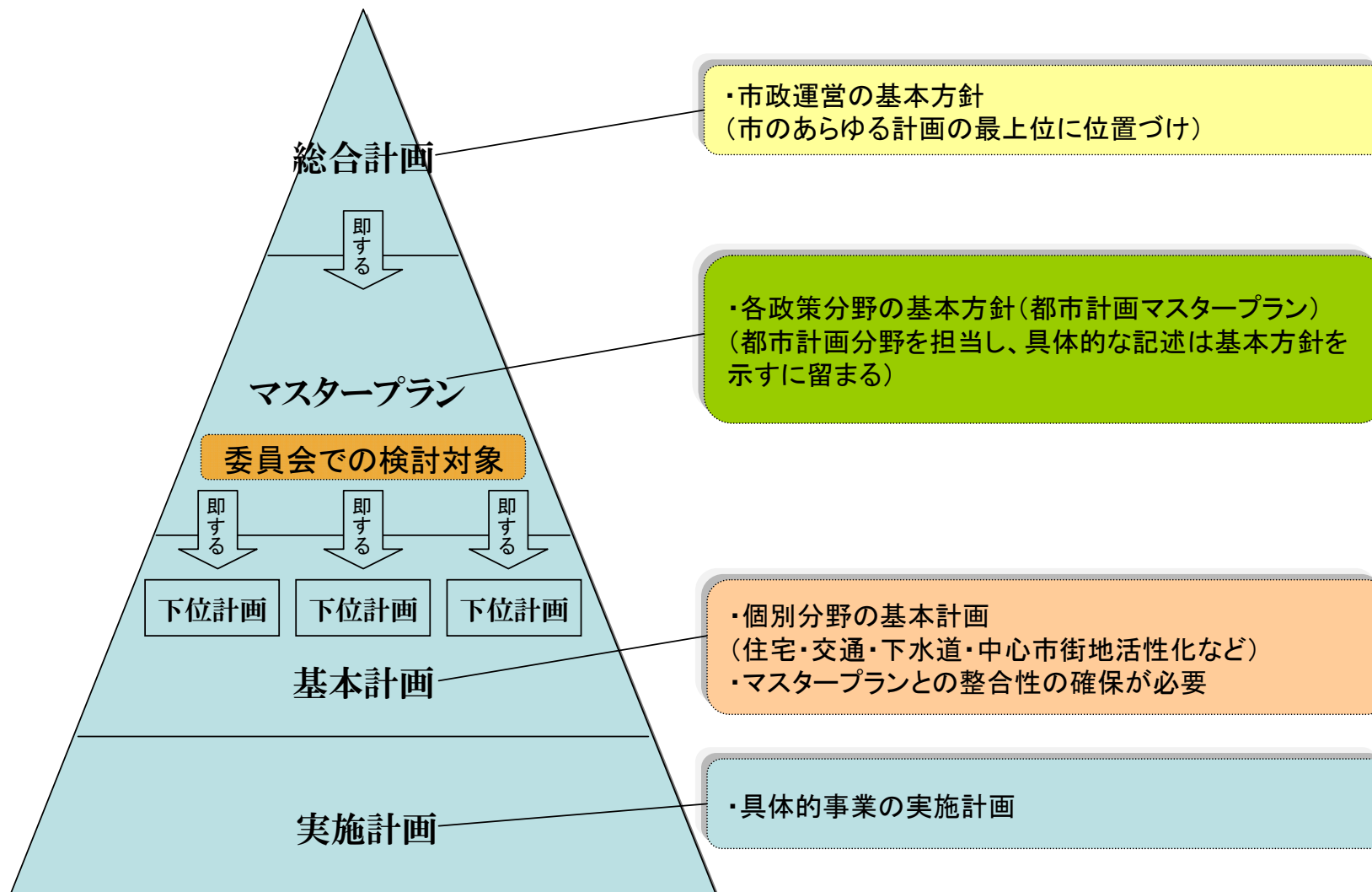
・都市計画マスタープランは、住民意向を反映するための措置を講じなければならないが、その方法は各自治体で様々である。

・ワークショップの開催は、市民と行政が一緒になって創り上げたという印象が残り、信頼関係の構築に繋がるという反面、陳情的な意見が多いことや、全市的な政策である都市計画マスタープランへの意見の反映が難しいという見方もある。

・そうした中で、今回は時間的な制約もある中で、既に開催されている、総合計画のワークショップでの市民意見を参考にすることや、庁内での検討部会、民間委員を中心とする策定委員会、その他市民アンケート、住民説明会、パブリックコメントにより、極力市民意見の把握に努めるとともに、広報たがわ及び市ホームページによる積極的な情報公開を心掛けながら、進めたいと考えた。

## 第2回策定委員会での意見とその対応について

### (2) 総合計画や都市計画マスタープラン、下位計画の関係性について



## ■ 第2回策定委員会での意見とその対応について

### (3) その他の意見

○総合計画や総合交通会議等での検討経過を知りたい

- ・会議資料等を送付

○伊田駅と後藤寺駅のデータ比較が分かりにくい

- ・市民に公表、説明するまでにはデータの収集、内容の精査に努める

○組織の代表者として出席しているが内部調整は行ってよいのか

- ・検討期間中は資料等の外部公表は避けていただきたいが、内部調整であれば検討していただいて良い